

平成30年2月吉日

保護者 様

新宿区立落合第三小学校

校長 新井 正一

平成29年度 学校評価（中間）の集計結果について

春寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、保護者の皆様には、昨年末に学校評価のアンケートをお願いいたしました。ご多用の時期にもかかわらず、多くの皆様にご協力いただきました。改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

集計結果をまとめましたので、ご報告いたします。学校では、今回いただいた保護者の皆様からのアンケート結果や、各行事アンケート、学校公開アンケート等のご意見を踏まえ、来年度のカリキュラムや各種教育活動の検討をしてまいります。多数のご意見をいただいたものなどについては、可能な限り具体的に反映していきたいと考えています。

今後も本校の教育活動に、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



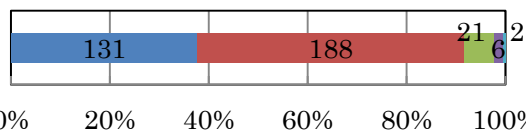
○「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせて80ポイントを超えた項目については、それなりに成果があったものと考えます。

○「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を合わせて20ポイント以上の項目については、2学期からの本校の取り組みの中でさらに工夫していく必要のあるものと考えます。

○「わからない」が20ポイントを超えている項目は、保護者の方々に知っていただけるように努力していく必要のあるものと考えます。

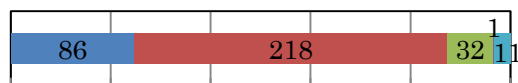
〈確かな学力〉

1. 我が子は学年相応の学習の基礎的
基本的内容を身に付けている。



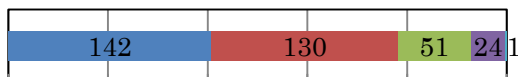
0% 20% 40% 60% 80% 100%

2. 我が子は各授業によって「考える、話す・聞く、表現する」等の力が育ってきている。



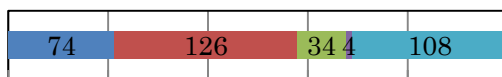
0% 20% 40% 60% 80% 100%

3. 我が子は学年×10～15分程度の学習を、家庭で毎日行っている。



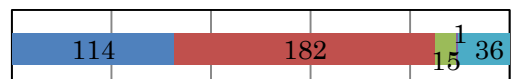
0% 20% 40% 60% 80% 100%

4. 学校はＩＣＴ機器を活用した授業を積極的に行っていると思う。



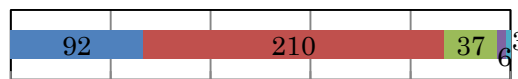
0% 20% 40% 60% 80% 100%

5. 学校の先生は分かりやすい授業を行っていると思う。



0% 20% 40% 60% 80% 100%

6. 通知表は我が子の学力や生活の様子がよく分かるようになっている。



0% 20% 40% 60% 80% 100%

⇒ 1～6〈確かな学力〉 傾向と分析、新年度方針について

設問1「基礎的基本的内容の定着」について、昨年度同様に概ねよい評価をいただきました。3～6年生では、昨年1月に実施した「新宿区学力定着度調査」の結果を十分に分析し、成果と課題を踏まえたうえで授業の計画を立て実践してまいりました。また、担任だけではなく、学習支援員、地域ボランティアの方々とも連携して指導に取り組みました。

設問2「考える、話す・聞く、表現する」について、概ねよい評価をいただきました。昨年度まで「自分の思いや考えをもち、人とのかわりの中で、広げ深められる児童の育成」を研究主題として、3年間国語科を中心に取り組んできたことが成果として表れたものだと考えられます。

設問3「家庭学習」について、来年度も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

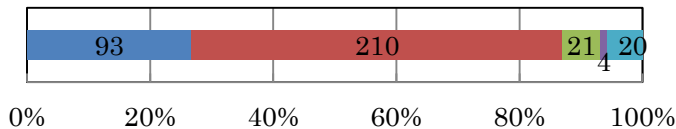
設問4「ＩＣＴ機器の活用」について、「わからない」とのご意見が多いものの、ここ数年毎年ポイントを伸ばし続け、保護者の方々にもご理解をいただけるようになってきました。今年度は、9月から全学級電子黒板・タブレットパソコンが導入され、より一層ＩＣＴ機器を活用した授業を実践しています。まだまだ活用には課題はありますが、今後も効果的な活用を追求してまいります。

設問5「分かりやすい授業」について、昨年度同様によい評価をいただきました。我々教師自身が、引き続き研修と修養に努め、更に「分かりやすい授業」を目指してまいります。

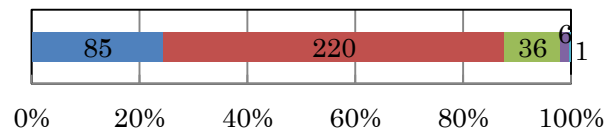
設問6「通知表」について、来年度は、道徳が教科化されたり外国語活動が充実したりすることから、より一層記載内容を吟味し、保護者の皆様にも学習の様子等がお伝えできるようにしていきたいと考えます。

＜豊かな心＞

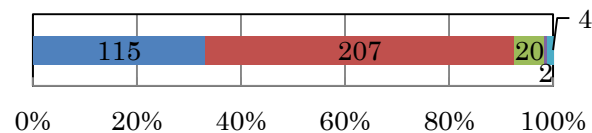
7. 学校は子どもたちが互いに認め合い、進んで協力し合う豊かな人間関係をつくっている。



8. 我が子はあいさつや言葉遣い等、基本的な生活習慣が身に付いている。



9. 我が子は社会のルールを守る態度が身に付いている。



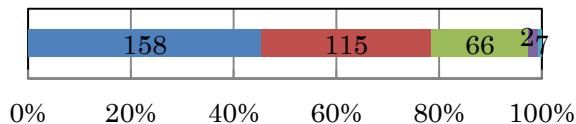
⇒ 7～9＜豊かな心＞ 傾向と分析、新年度方針について

設問7 今年度は「豊かな人間関係をつくる特別活動～互いを認め合う集団づくりを通して～」を研究主題として、全教員が研究・実践をしてまいりました。来年度も引き続き、豊かな人間関係を子どもたちが築いていけるように努めてまいります。

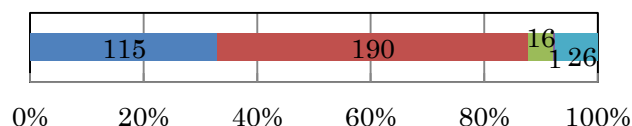
設問8・9 約9割の方に肯定評価をいただきました。この項目も、ここ数年で毎年ポイントを伸ばしています。今後も道徳授業をはじめとして、全教育活動で「心の内面」を大切にしたい指導を心がけていきます。

＜体 力＞

10. 我が子は体を動かすことを楽しみ、進んで運動している。



11. 学校は、体力の向上、健康の増進、安全等について適切な指導を行っている。



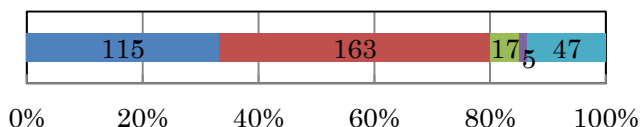
⇒ 10～11＜体力＞ 傾向と分析、新年度方針について

設問11では、概ねよい評価をいただきましたが、設問10「楽しみ、進んで運動している」については肯定評価が80ポイントを切ってしまいました。高学年になるにつれて外遊びをする時間が少なくなったり、運動をする子としない子の二極化が進んでしまったりするのも課題として挙げられています。体育科の授業の質を向上させていき、運動の魅力を子どもたちに実感させていくことや、学校独自の体力向上に向けた取り組みを充実させていきます。

※学校独自の取り組み例：朝遊び、放課後遊び、落三ギネス、マラソン週間、長縄大会等

＜相 談＞

12. 学校のいじめ等への対応は信頼でき、子供にいじめやいじめの疑いがある時には学校に相談している。（するつもりだ。）



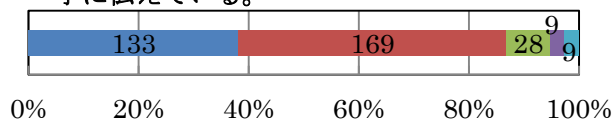
⇒ 12＜相談＞ 傾向と分析、新年度方針について

昨年度より肯定評価が6ポイント上昇し、80ポイントの評価をいただきましたが、依然として「わからない」の評価も13ポイントいただいております。このことも真摯に受け止め、来年度は更により一層ご家庭との

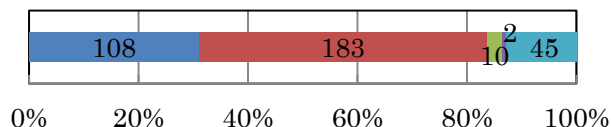
連携を密にとっていきたいと考えています。引き続きご協力をお願いします。

＜連 携＞

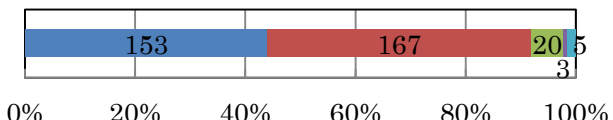
13. あなたは携帯電話やインターネットの適切な利用についてルールを決め、我が子に伝えている。



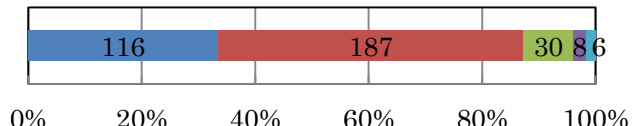
14. 学校は授業や学校生活で、地域の人と一緒にやる活動に力を入れていると思う。



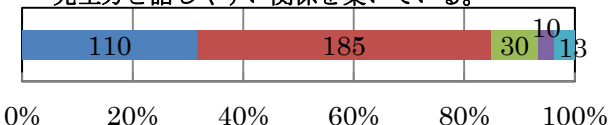
15. 学校は子どもの様子を保護者や学校便り・学年通信等でよく伝えている。



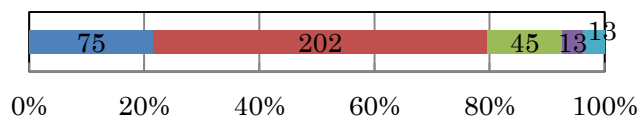
16. あなたは保護者会に参加したり学校便り等を読んだりして、学校と連携を図っている。



17. あなたは保護者会に参加したり、学校行事等を参観したりすることを通して、担任等の先生方と話しやすい関係を築いている。



18. あなたは、保護者会やPTA活動等で保護者同士でも互いに話しやすい関係を築いている。

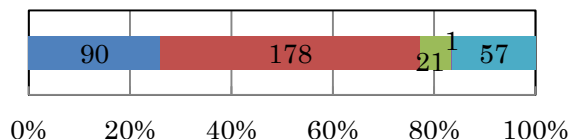


⇒ 13～18＜連携＞ 傾向と分析、新年度方針について

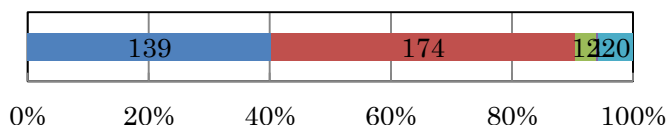
いずれの項目も概ねよい評価をいただいています。項目13の「インターネット」については、年々小学校でもトラブルが発生する傾向にあり、急務であると認識しています。道徳の授業をはじめとして「情報モラル授業」を実施し、子どもたちの啓発を図っているところではありますが、学校からの発信だけでは決して解決することのできない問題です。引き続き保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

＜特 色＞

19. 学校は地域を生かした活動や伝統的な活動に力を入れていると思う。



20. 朝読書、読み聞かせ等、読書を推進する教育活動は充実している。



⇒ 19～21＜特色＞ 傾向と分析、新年度方針について

設問19「地域・伝統」について、今年もたくさんの方々にお力をお借りしながら、教育活動を充実させることができました。また、地域協働学校運営協議会委員の方々からの貴重なご意見を参考とさせていただくことができました。

設問20・21「読書」「たてわり班活動」について、来年度も引き続き本校の特色ある教育として、更に充実させてまいります。

21. たてわり班活動は、リーダーシップ、協調性、思いやりの心を育む教育活動として充実している。

